

ね工房 プロカメラマン

森下 齊 (Hitoshi Morishita) 氏



お寿司屋さんの一言が、セミナー企画の着想点。
「『何がわからないのかが、わからない』と思ってる。何が疑問なのかな、と常に考えて、毎回のセミナーの中で反映するようにしています」

(ササキミサト・以下ミ) 本日も登場いただきありがとうございます。ね工房「ねこうぼう」・カメラマンの森下さんです。森下さん、よろしくお願いたします。

(森下齋氏・以下森) よろしくお願いたします。

(ミ) 森下さんはいま「売れる広告撮影講座」がかなり売れているというお話を聞きましたけれども

(森) はい。結構日本各地に呼んでいただけて、かなりご好評をいただいております。

(ミ) 「売れる写真」っていうのは、どういうことなんですか？

(森) 「商品の良さを、お客さんにちゃんとわかってもらえる写真」です。その写真を見て、買いたいなあっていう購買動機を起こしてもらうような写真ということですね。

(ミ) 写真だけでも、かなり違いますもんね。

(森) そうですね、ウェブでも紙の媒体でも、一番最初に目に入ってくるのは写真です。その写真があまりきれいでなかったり、よくわからなかったり、印象が悪いと、なかなかその先には進んでいただけません。特にウェブ

では、そういった傾向があるんじゃないかなと受け止めています。
(ミ) 受講者さんの層というのは、物販を行っている方が多いんですか？

(森) そうですね、製造業含めてご自分で商品サービスを提供されている方がほとんどです。

(ミ) 私の手元に、売れる写真撮影講座のフライヤーがあるんですが、そこにはすごく綺麗なイチゴと、ちょっと残念なイチゴとビフォーアフターで二つあるんです。これかなり違いますよね。

(森) そうですね、写真を綺麗に撮るためのコツがありまして、それを体得していただければ、どんなでもある程度は綺麗な写真を撮ることができるようになるんです。写真というのは皆さん当たり前前に撮るものなので、知っているようで知らないことが非常に多いように認識しています。光の使い方だったり、あとは商品の置き方だったりと、もっとも基本的な部分だと、撮影するときにレンズが汚れていないかな？だとか、そういうことですね

(ミ) このフライヤーでは、真上

から写しているのがビフォー。アフターが透明なパッケージ(イチゴ)の商品名が描かれているものを外して、光を当てて、真っ白な状態で映されています。←

売れる写真撮影講座
お金と時間を掛けずに売れる写真を撮る！

BEFORE AFTER

カメラはスマホまでOK！ 機材は100円ショップホームセンターで買える物！

◆講習費用：※撮影機材はご自身で準備してください
◆撮影チェックリスト付きテキスト
※お申し込み後、撮影機材の準備期間を設けてお送りいたします。

素人目には、イチゴの商品名も出ている方がいいんじゃないかなと思っんですが。
(森) そうですね。場合によっては商品名・ブランド名をちゃんと入れた方がいいこともあるんですが、ビフォーはラップがかかった状態ですから、イチゴの質感が出てないんですね。光によってラップの形状が出てしまうので。それよりも、イチゴのみずみずしさを伝えるには、ラップをとってイチ

ゴをアップめに、逆光で光らせて撮ってあげると、美味しさや「食べたいな」と思ってもらえる写真になると思います。

(三) 確かに、食べたくなる写真ですよ。他にはどういう業種の方がテクニクを学びにいらっしやるんですか？

(森) 美容師さんですね。美容室でお客様のビフォーアフターを撮りたいと。記録として撮るので、「そろそろカットした方がいいですよ」と送ったり、綺麗にカットした後の写真を喜んでもらうために差し上げるというサービスをされているところもあります。

(三) それすごい良いサービスですよ。

(森) 実際に講座に来た方に教えていただいて、そういう使い方があるのだなと気づかされました。

(三) 他に、飲食店の方も受講されると聞きました。

(森) メニューの写真は、お客様が一番選んでいただきたい商品を大きく載せることによって、お客様の目に付きます。飲食店関係、食品・お料理関係は写真の質が一番重要になってくるので、割合的に

も多く受講されていますね。また、時間を節約したいという方が多いです。

(三) 時間を節約するとは？

(森) 例えばカメラマンに撮影を発注すると、最低でも一週間くらい経たないと写真が仕上がらない日程の調整とかすると、どうしても一週間くらいかかってしまう。

でも、スタッフがスキルを身につけていると、やりたい時にすぐ写真を使うことができる。コストの削減よりも、時間の短縮という方が大きいというお話を、居酒屋さん、ラーメン屋さん、チェーン店オーナーの方から伺いました。

(三) 確かに、写真を撮ってもらうって受け取るまでに、割と時間がかかりますよね。

(森) そうですね、昔のフィルム時代から比べると早くはなってますが、それ以上に世の中の動きの方が早くなっていますので、まだまだそれでは足りないと思われる方が非常に多くいるんだなと。そう感じていただいていることを聞き、逆に心強く感じた次第です。



before



after

全国へのセミナー展開

(三) 写真を撮るテクニクを飲食店のスタッフとかに教えちゃうと、カメラマンの仕事って減っちゃうんじゃないかなと思います。

(森) はい、実際減ってるんですね。デジタル化になって減っていますし、価格的なものも減っています。それは皆さん(誰もが身近に)写真を撮られているというのが一つの原因にあると思うんです。私もどちらかというと、自分で撮るより皆さんにお教える方が、世の中のためになるし、自分のためになると思って、今は積極的にそ



様々な業種の経営者が集まる写真撮影講座

ちらの仕事をしています。

(三) ご自分のためにもなる？

(森) はい。割とね、体力勝負なんですよ。撮影には結構な量の荷物を持っていきますので、体力的に辛い部分もありますし、あとはその荷物があるので車で行ける範囲でしか仕事は発生しないんです。例えば今回札幌に行きますが、札幌でカメラマンとしてのお仕事があるというところではない。ただ、セミナーですと全国に呼んでいただいている仕事ができるので、かなり違います。大きなメリットがあるので、積極的に続けていきます。

(森) 実はセミナーの仕事というのは、十三年前に独立する時に構想としてあったんです。何故それを思いついたかという、以前の会社にいた時に、和食のレストランに撮影に行きまして。そのオーナーが「俺たちに撮れないかな？」と話をされたんですね。見ると簡単そうに見えたんだと思うんですけど。その時私がかさず「社長、それは私たちが寿司を握るようなもんですよ」と話したんです。社長はよくわかったと仰ったんですけど、それがずっと心に残ってて。例えば、酢飯の作り方、魚の切り方や大きさのマニユアルがあれば、マシなものが素人でもお寿司が握れるんじゃないかな？と思ったのが着想点だったんですね。その頃にフィルム写真とデジタル写真の切り替えの時期に差しかかる頃で、写真を撮るという仕事だけをやっていると、先細りになる可能性があるなと感じました。いろんなところにその案を話すと、結構面白いんじゃないの？反応があったので、そこから始めた感じですね。

(三) お寿司屋さんの一言がきっかけで、部分的でも素人でも写真が撮りやすいと感じたことが始まりだったんですね。

(森) そうですね、全く同じには出来ないですが、かなり改善できます。



各新聞でも話題に

(三) 一番最初のセミナーって、集客宣伝はどのようにされたんですか？

(森) 最初は群馬県の商工会連合会を通して、商工会の会員さん向けのセミナーとして呼んでいただきました。

(三) そこから全国展開された背景って、ご紹介などがあったのですか？

(森) 三年前に地元の桐生の商工会議所の創業塾で「コマください」なんです。その時に、創業塾全体をコーディネートしていた会社からコンテンツとして扱いたいとお声があり、そこで採用されたのが全国に広まった始まりです。

(三) “昨年度実績五十件以上の、集客不要のセミナーと言われています”とフライヤーに言われています。皆さんに喜ばれているんですね。

(森) こんなセミナーをする講師は、他にもいるだろうと思ってたんですが、いろんなところで聞くところ、「いや、こういうのなんだよね」という話がよくありますね。2、3のところではリピートしていただいたりとか、多いところでは三度目、静岡は今年通算三度目です。自分でびっくりなくらい良い評価をいただいています。

(三) 商工会の会員さん向けだと、業種が結構バラバラになっちゃいますよね。

(森) そうですね、そこが今でも悩みどころではあるんですけども、まあでも半分くらいは食品に関する方だったりしますね。



現役プロカメラマン直伝 売れる商品の撮影法学ぶ



商工会の会報で大きく取り上げられる

(三) 食品を綺麗に魅せる技術を自分で写真に収めたいということでもそんな。

(森) そうですね。

(三) 伝えたいことは「綺麗に見える・効果的に見せる写真」テーマは一貫していますが、業種がバラバラだと、話す時や講師としての心持ってどうですか？

(森) 出来るだけ事前に皆さんの業種を教えてください。例えば建築関係、リフォーム関係、介護福祉関係など、事前にご要望がわかれば、いつも使っているテキストにプラスして、人の撮り方や建物の撮り方などをプラスしてお話するようにしています。

セミナー中の受講者との「コミュニケーション」

(森) 基本的に写真を撮るということに関しては、何を撮るのでも共通と考えています。今やっているセミナーが一番最初にお話するのは、チェックリスト十項目があまりまして、その十の項目をクリアしていただくと、どんな写真でもある程度綺麗な写真になるように考えています。

(ミ) 相手が商品であれ、人であれ、風景であれ、そのチェック項目を見ると、軸が出来るということなんですって？

(森) そうです、基盤ができるということなんです。



座学だけでなく実践ベースの講座は常に受講者で溢れている

(ミ) カメラマンの職業の方、本当に多くいらっしゃるんですが、セミナー展開している方自体、少ないのでしょうか？

(森) 少ないと思います。で、気づいてやっている方もいらっしゃるのですが、内容を見ると、本格的すぎるなと感じます。

(ミ) 本格的というのは？

(森) 「多分これ、わかる人、半分以上いなくなるな」というところですかね。その辺が専門家との差というか。きっとどんな業界でも同じだと思うんですけど、「これは知ってるよね？」という前提で話すと、それすらわからないということが、よくあると思うんですね。その辺がカメラマンサイドに立って物事を考えていると、ちょっとわからないのかなあ・・・と。私が今思っているのは、『何がわからないのか、わからない』と思ってるんですね。何が疑問なのかな、と常に考えて、毎回のセミナーの中でそれを気をつけていて、反映するようになっています。

(ミ) 何がわからないのか、わからない。それはきくと、受講者さんも、森下さんもっていいことですか？

(森) そうですね。受講生の方が何がわからないのか。何がわからないことでつまづいているのか。っていうことを知りたい、ということですか。

(ミ) その知りたい気持ちを叶えるために、どんなことをされていますか？

(森) 特に特別なことはやっていないですが、セミナー途中で受けた質問は、かなり重要だと感じています。途中で質問するというのは、かなり勇気のいることだと思うので。その時あえて聞いてくるというのは、よっぽど困っていることなんだなと思いますので、そこで気づかされることがありますね。「あ、この話をする前に、これを話しておかないとダメだ」と気づくことがあります。質問していただく中で、そういったものを発見していくように、努めています。



セミナー内容	
日程	テーマ
1日 (12-13時)	1. 料理・食品の撮影方法 2. 撮影の準備と機材の使い方 3. 撮影の実際
2日 (12-13時)	4. 撮影の実際 5. 撮影の実際 6. 撮影の実際

※事前に撮影機材の準備が必要です。撮影機材・撮影機材の準備は各自で行ってください。
※必ずしもこの内容・順番通りに進めず、ご自身の状況に合わせて調整いたします。

料理や食品に特化した講座も

(ミ) 講座の中でのコミュニケーションって、どんなことを心がけていますか？

(森) だいたいお顔を見ると、ちやんとわかっているかなって、何となくわかりませんか？(笑)

(ミ) そうですね(笑)

(森) 何言ってるんだらうこの人・・・っていうような感じの方を見ると、「今までのところでは、何か引っかかるようなことはありませんか？」というようなことをお聞きすることがあります。

(ミ) 森下さんの講座は、男性女性どちらが多いんですか？

(森) 特徴的なことではないんですが、思ったより女性が多いですね。半分くらい女性の方、ということも多いですね。女性の方が写真に対して積極的に、綺麗な写真を撮

りたいという欲求が強いですね。
一生懸命やろうとする方も、女性の方が割合的に多いと思います。

(ミ) 質問も、女性からが多かったりしますか？

(森) セミナーが終わってからの質問は、女性が圧倒的に多いです。

(ミ) 講座の中で質問をするより、マンツーマンで聞きたいというニーズは、やっぱりあるんですね。

(森) そうですね。この人はちんぷんかんぷんなことを言ってるって、周りの人に思われたくないっていうのもあるでしょうし。

(ミ) 自分の込み入った話をしたいから、という方も私の場合は結構います。例えば、上司との関係が上手くいかないとか、コールセンターでの指導がなかなか進まないとか、少しだけ踏み込んだ質問もあるのですが、どうしてもオーディエ

ンスがいる前では避けたいと思っている方もいますね。

(森) なるほどね。

(ミ) 写真もきくと、同じかなと思ってます。「他社よりももっと綺麗にとか、同業他社よりも一歩先



に行きたい

という思い

で、森下さん

の元に集ま

る方がたく

さんいらっ

しゃるん

じゃないか

な？と。

(森) 具体

的に、今まで

の写真を見

せていただ

いて「どうし

たらいいで

しょう？」と

いう質問を受けることも多いですね。

(ミ) それはスマホでも、普通のカメラでもですか？

(森) そうですね。

(ミ) プロに直接アドバイスいただけるのって、めっちゃくちゃ

オイシイですよ！

(森) そう思っていただけなのであれば、こっちは本当にありがたいです。お金と時間をかけずに、太陽の光を使って撮影する一番簡単な方法を実習でお伝えしているんですけど、皆さんが会社や事業所に戻られて、再現できるかに、一番

心を砕いているところです。

(ミ) 再現性ですよ。

(森) そうですね。同じ状況を作れないと、意味がないですから、そこをいかに理解していただくかが一番重要だなと思っています。

(ミ) 100円ショップのグッズでも綺麗に撮れる準備が出来るって伺ったのですが、カラクリはどんなことですか？

(森) 一番簡単なもので、スケッチブックを使って撮影する方法をお勧めしているんですね。冒頭のイチゴの写真も、ビフォーは木目の

の上に乗っていて、アフターは白いスケッチブックの上に乗っています。バック(背景)によっても写真の見え方が変わってきて、イチゴなんかだと、濃い板目のバックだと相応しくないと思っていますね。商品が目立たない、目が他所に行

ってしまふということがあるので、一番無難なバックの色である白を使うためにスケッチブックをお勧めしています。あと、自分のお腹にスケッチブックの一枚を立てかけることで、正面がレフ板の替わり



スケッチブックを使った実習の様子

になるんです。そんなに高いものではないので、100円ショップでもスケッチブックは売っていますので、そんなに大きなものではないんですけど、一番手軽に時間をかけずに撮影が出来ます。あと、100円ショップに売っているランチョンマ

の商品が目立たない、目が他所に行

ットを使うことでも雰囲気が変わります。竹を使ったものだとか、和風洋風とありますので、ただの白バックではなく、そういうものを入れると雰囲気変わりますので、

メニューの一部だけでも撮影の時に使うなど、さっと敷くだけでですので手軽に出来ます。あとは、造花の葉っぱも写真の後ろに入れてあげたりとか。今実は、お歳暮の撮影がほぼ終わりつつあるタイミングなんです。季節ものを撮る時に、千代紙のセットの中から何枚か出して一緒に入れてあげると、お正月のイメージになったり、クリスマスイメージになったりします。これは、前の年に買っておか

ないとダメなんです(笑) (ミ) そうですよ(笑) (森) お祝い袋の熨斗の水引だけ使う時もありますね。撮影としての小物は100円ショップで売っているものをよく使うことが多いです。(ミ) きっとセンスってところもあるのかな?って思うんですが、何かを置くとか敷くも、講座の中で森下さんならではのアイデアを得られるってことですよ。(森) そうですね。あとは、自分が

撮りたいもの、撮りたい写真を、大手百貨店のギフトカタログやチラシから同じような写真を見つけて真似るようにしてくださいとお話をしています。(ミ) 確かに、勉強になりますもんね。同じ商品が、こういう物を添えて写真を撮っているのか。(森) 商品置く角度ですとか、

見る高さとか、どんなものが入っているのかを参考にしていただけだとか、どんなものが入っているのかを参考にしていただけだとか、どんなものが入っているのかを参考にしていただけだとか、

傾向とすれば一部の部分だけに注目してしまつて、アンバランスな写真になってしまつている傾向もありますね。イメージ的な写真の場合。そういう時に、講座特典でもあるフオーアップの「質問室」を使つていただき、こういう写真が撮りたいけど現状こうです、と質問をしていただけるかと、理想に近づけたら良いのか、アドバイスさせていただきます。

販売プロカメラマン講座

売れる写真撮影実践講座



入門編

NeoStudio

- #### 2010年
- 1月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影講習)
 - 2月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影講習)
 - 2月 e・有機生活 (撮影講習)
 - 3月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影講習)
 - 3月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影講習)
 - 6月 群馬伊勢崎商工会 (撮影講習)
 - 6月 ミラサボ (撮影指導 齊藤機料店 桐生市)
 - 6月 ミラサボ (撮影指導 フジコ 桐生市)
 - 6月 ミラサボ (撮影指導 齊藤機料店 桐生市)
 - 8月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 8月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 8月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 10月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 10月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 10月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 10月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 10月 新津商工会議所 (撮影講習)
 - 10月 桐生商工会議所 (撮影講習)
 - 10月 寄居町商工会 (撮影講習)
 - 10月 ミラサボ (和歌山県 新宮市)
 - 11月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 11月 上尾商工会議所 (撮影講習)
 - 11月 下館商工会議所 (撮影講習)
 - 11月 館田商工会議所 (撮影講習)
 - 12月 結城商工会議所 (撮影講習)
 - 12月 福島商工会議所 (撮影講習)
- #### 2017年
- 1月 ミラサボ (撮影指導 結城商工会議所)
 - 1月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 1月 ミラサボ (撮影指導 桐生商工会議所)
 - 2月 米沢商工会議所 (撮影講習)
 - 2月 武蔵野商工会議所 (撮影講習)
 - 2月 熱海商工会議所 (撮影講習)
 - 3月 諏訪商工会議所 2日間 (撮影講習・個別指導)
 - 3月 寄居町商工会 (撮影指導 埼玉県・埼玉県商工連)
 - 3月 埼玉県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 4月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 4月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 4月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 5月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 5月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 6月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 6月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 6月 鎌倉商工会議所 (撮影講習)
 - 7月 袋井商工会議所 (撮影講習)
 - 7月 小林商工会議所 (撮影講習)
 - 7月 木更津商工会議所 (撮影講習)
 - 7月 白河商工会議所 (撮影講習)

- 8月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 8月 静岡商工会議所 (撮影講習)
- 8月 加古川商工会議所 (撮影講習)
- 8月 富士商工会議所 (撮影講習)
- 8月 天童商工会議所 (撮影講習)
- 8月 藤枝商工会議所 (撮影講習)
- 8月 昭和町商工会 (撮影講習)
- 8月 下仁田商工会 (撮影講習)
- 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 9月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 9月 真岡商工会議所 (撮影講習)
- 9月 千曲商工会議所 (撮影講習)
- 9月 松阪北部商工会 (撮影講習)
- 9月 大村商工会議所 (撮影講習)
- 9月 小川町商工会 (撮影講習)
- 9月 古川市商工会 (撮影講習)
- 9月 飯能商工会議所 (撮影講習)
- 9月 徳州中野商工会議所 (撮影講習)
- 9月 埼玉県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 10月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 10月 埼玉県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 10月 熊本市商工会連合会 2日間 (撮影講習)
- 10月 ミラサボ (撮影指導 桐生商工会議所)
- 10月 成田商工会議所 (撮影講習)
- 10月 福井商工会連合会 (撮影講習)
- 10月 秩父商工会議所 (撮影講習)
- 10月 盛岡商工会議所 (撮影講習)
- 10月 日南商工会議所 (撮影講習)
- 10月 甲斐市商工会 (撮影講習)
- 10月 筑北商工会 (撮影講習)
- 10月 原町商工会議所 (撮影講習)
- 11月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 11月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 11月 日立商工会議所 (撮影講習)
- 11月 高岡商工会議所 (撮影講習)
- 11月 唐津商工会議所 (撮影講習)
- 11月 所沢商工会議所 (撮影講習)
- 11月 諏訪商工会議所 2日間 (撮影講習・個別指導)
- 11月 茅野商工会議所 (撮影講習)
- 12月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 12月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 12月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 12月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 12月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
- 12月 津島商工会 (撮影講習)
- 12月 静岡商工会議所 (撮影講習)
- 12月 須坂商工会議所 (撮影講習)
- 12月 (株)エクスペリエンス (撮影講習 長野市事業所単独)
- 12月 桑原商工会 (撮影講習)

- #### 2018年
- 1月 秋田県中小企業団体中央会 (撮影講習)
 - 1月 山形商工会議所 (撮影講習)
 - 1月 大平町商工会 (撮影講習)
 - 1月 ミラサボ (撮影指導 天童商工会議所)
 - 2月 日本商工会議所 (撮影講習)
 - 2月 八戸商工会議所 (撮影講習)
 - 2月 塩釜商工会議所 (撮影講習)
 - 2月 寄居町商工会 (撮影指導 埼玉県・埼玉県商工連)
 - 2月 寄居町商工会 (撮影指導 埼玉県・埼玉県商工連)
 - 2月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 3月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 3月 寄居町商工会 (撮影指導 埼玉県・埼玉県商工連)
 - 3月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 3月 (株)きぬのいえ (定期的撮影指導)
 - 3月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 3月 群馬県商工会連合会 専門家派遣 (撮影指導)
 - 6月 毛呂山町商工会 (撮影講習)
 - 6月 岩舟町商工会 第1回 (撮影講習)
 - 6月 白河商工会議所 第1回 (撮影講習)
 - 7月 岩舟町商工会 第2回 (撮影講習)
 - 7月 入間市商工会 (撮影講習)
 - 7月 亀山商工会議所 (撮影講習)
 - 7月 八潮市商工会 (撮影講習)
 - 7月 (株)きぬのいえ (定期的撮影指導)
- 「売れる写真撮影実践講座」
登壇実績 (2018年7月現在)

【イベントや講座中の写真】に特化したセミナー

(ミ) 札幌で行っていたけどセミナーですが、人を撮る、しかも大勢の人を撮るといった視点では、森下さんはどんなことがポイントだと考えてらっしゃいますか？

(森) まず最初に「人が大勢いるように見える写真を撮る」実際には、いっぱいいても写真にしちゃうと、スラスカな感じになっちゃいます。

(ミ) 人数がいても少なく見える場合もあるし、少ない人数でも賑わいを見せることが出来るということですね。アングルとか、立ち位置で違ってくるんですか？

(森) 違いますね。セミナーだとスクール形式に机が並んでいて、当然机と机の間に通路がありますよね。その通路を中央にしてしまうと、いっぱい人がいても、非常に人が少なく見えちゃいます。通路、つまり空白の部分、人がいない部分を作らないように、通路が目立たない角度を保って撮影をします。

(ミ) スクール形式の以外の、

例えば島・グループ・ロの字・コの時に座る場合のコツは？

(森) その場合は、人と人が重なるような写真を撮ります。ただ重なっているだけではダメなので、例えば発言をしている人を中心に、その周りに人がいっぱいいるように、重なって見えるような高さだったり角度を探します。

(ミ) 高さですか？

(森) はい、高さも必要になります。かなり上からテーブルを使って全体を撮れますし、低いアングルにすると人と人が重なってきますから、そうすると皆さんが熱心に聞いている中で発言をしている写真が撮れます。

(ミ) いや〜これは素人は絶対わからない視点ですよ。

(森) ただ、それを知ってしまえば、そこを見つけていただくだけなので、そんなに難しいことではないですね。

(ミ) それをスマホでも撮れるってことですよ？

(森) ある程度は撮れます。スマ

ートフォンの性能が上がったからといって、皆さんがもうカメラいらないんじゃないの？と思われる方も結構いらっしゃるんですけど、実際にスマホというのは、「写真が撮れる電話」ですので、専用の道具ではないので、それには敵わないところがいっぱいあるんですね。なので、スマホで撮れる限界というのがあります。ただ、撮り方のノウハウを知っていれば、かなり違った写真を撮ることは出来ます。

(森) そうです。デフォルトのカメラのアプリだと、分かりにくかったり余分なものがあったりだとか、出来ないことがありますので、そこを共通のアプリケーションを使っていただくことによって、クリアしたいなと考えています。360円くらいだと思います。

(ミ) このアプリを入れておくと、デフォルトの写真ではない、いい感じの写真が撮れるってことですね？

(森) そうですね、特にiPhoneは違ってきますね。

全国初開催!
カメラマン歴38年のプロから直接学ぶ
スマホ写真講座

2018年 11月27日 (火) 第1部 10:00-12:30

プロカメラマン直伝
「笑顔が伝わる」イベント写真をスマホで撮ろう!

「イベント会場の様子が伝わる写真を撮りたい!」
「SNSに写真を投稿したいけれど、人の顔が写ってるのはNG?」
楽しい雰囲気の伝わる写真の撮り方をその場で実践!
注意事項もしっかり学んで、SNSでも使える写真が撮れるようになる!

イベントや講座宣伝には、写真は欠かせません。その写真を見た人が、「楽しそう」「ここに行きたい」「私も参加したい」「イキイキしている雰囲気を感じる」と感じ、次回のイベント時に足を運んだり、講座に申し込んだりします。スマホから会場の楽しそうな様子の写真をリアルタイムでSNSに投稿できれば、より効果的です。でもやっぱりいい写真は一眼レフじゃないと撮れないんじゃないの?というあなたにこそ来てほしいのがこの講座です。

初 イベント写真に特化した写真講座は全国初!

講座内容

- ・スマホのカメラの設定
- ・撮りたい写真の構図の決め方
- ・撮りたい写真の構図の決め方
- ・撮りたい写真の構図の決め方
- ・撮りたい写真の構図の決め方
- ・撮りたい写真の構図の決め方
- ・撮りたい写真の構図の決め方
- ・撮りたい写真の構図の決め方

受講料 10,000円
先着10名様 特別価格 5,000円

持ち物 スマートフォン(カメラも持込可) ※講師指定のアプリのインストールが必要
対象者 イベント主催者・企業広報担当者・個人事業で「講座」を開催する講師の皆様
場所 札幌市中央区 地下鉄大通駅から徒歩2分(駐車場あり・車高制限あり)
※詳細はお申し込みの方へ別途お知らせいたします。

主催: Vomy-C ササキミサト ■お問合せ先: TEL 080-1090-4555 / E-mail info@sasakimiso.jp / HP http://sasakimiso.jp



Camera+
究極のフォトアプリ
LateNite Apps
「写真」カテゴリ内13位
★★★★★ 4.4、639件の評価
¥360・App内課金が有ります

セミナーで使うアプリ「camera+」

「森」 違う場合もあります。修正できないこともあります。撮影するときに最大の手間を払ってあげることによって、失敗がなくなるというのがありますね。なるべく、後でちゃんと使える写真・ちゃんとフォロ―できる写真を撮るようにお話をしています。

(森) iPhone ですと、ホワイトバランスと言って光源によって写真の色が変わってくるんですが、そこを調節する機能が、デフォルトのカメラの機能にはそもそもないんですね。

(ミ) 光ってことですよ？

(森) そうですね。

(ミ) そうか！撮る前段階で光を調整するということなんですね。

(森) そうです、撮影する段階ですべてのことが終わるのが理想ですね。

(ミ) 撮った写真を明るくすると、撮る前に明るくするのは、全然違うんですか？

受講者からの感想

(ミ) 受講者さんからどのような嬉しいお声がありますか？

(森) 「本当に、目からウロコが落ちました」という話もありますし、「素人でもわかりやすく、仕事の写真がちゃんと撮れるようになりました」と。あとは主催者側の方ですが、「いつもセミナー中ってシーンとしているのですが、(森下さんの講座中は)うちの会員さんってこんなに反応するんだなっていうのを初めて知りました」

(ミ) それほびフォーアフターがわかりやすくあることと、森下さんの雰囲気作りですよ！

(森) あーそうだと嬉しいですけど(笑)

(ミ) 商工会議所のセミナーって、私も経験がありますが、割と皆さん勉強熱心に一生懸命聞く方が多い印象なんですけど、反応がともあるセミナーなんですね。

今回札幌では、イベント写真・講座写真に特化してセミナーをしていただきますが、こういう方にぜひ

来て欲しいというメッセージをお聞かせ願えますか？

(森) 写真というのは、どんな仕事でも販促・宣伝に欠かせないもので、一番最初に目に入るものなので、そこを綺麗なイメージ写真にしてあげることによって、サービスマンや内容の良さ、「行ってみたい」という風に思ってもらえる写真が撮れるようになればいいなと思っています。

(ミ) まずはイベントに足を運んでいただくきっかけになる写真が、撮れるようになる！ということですよ。

(森) そうです、「あ、行ってみたいな」と思ってもらえる写真です。



綺麗な写真は、コツを掴めばスマホでも簡単に撮影することができます。

◆編集後記◆

森下さんの屋号「ね工房」はズバリ「猫好き」から来ているのだそう。「猫の写真はなかなかうまく撮れないんですよ。レンズの形状や光が嫌なのか、角度はどうなんだろう？」とインタビュー中に仰っていました。猫の目線を知りたくて、床に寝転んだり、同じ姿勢で並んだり、ずっと観察しているんだろうなあ。その姿は、講師・森下齋さんも同じ。常に受講者目線。受講者さんたちは今何を考えているんだろうと、目の前の相手に対し、興味が溢れています。積極的に知ろうとします。「講師は受講者に対して興味を持ち続けることが大切」これ、とっても大切ななあ・・・

ササキ ミサト